

Live Production Suite-Protocol
ライブスイッチャー Live Production Suite
インターフェース仕様書

ネットワーク制御プロトコル
(AUX_IP)

Document No.
第 1.00 版
2020 年 05 月 28 日

パナソニック株式会社
© Panasonic Corporation 2020

変更日付	内容	新版数
2020.05.28	初版	1.00

1. はじめに	3
2. 通信について	3
3. 定期処理	3
4. コマンド一覧	4
4.1 クロスポイント関連コマンド	5
SBUS	5
4.2 トランジション関連コマンド	6
SAUT	6
ABST	7
ATST	8
SPAT	9

1. はじめに

本仕様書は、Live Production Suite 用のリモートコントロールパネル（以後、AUX パネルと略します）間のプロトコルに関する仕様書です。

通信は TCP/IP または UDP/IP を用いて送受信を行います。

1 つのパケットは [STX]0x02 で始まり [ETX]0x03 で終わります。

コマンドは 4 文字でその後に:(コロン)データが続きます。

コマンドにより複数データが来る場合がありますが、:(コロン)で各データは区切られています。数値データもアスキー形式送信します。

2. 通信について

■AUX パネル・本体間の通信

本体の LAN 側のポートを使用するためメニューにより IP アドレスは変更可能です。

AUX パネルは、本体の IP アドレスに合わせて適当にアドレスを指定する必要があります。

AUX パネル・本体間は通信内容に応じて TCP/IP と UDP/IP を使い分けます。

TCP/IP: ポート 60020: AUX パネル ⇒ 本体 [XPT 切り替え、AUTO 実行]

UDP/IP: ポート 60020: 本体 ⇒ AUX パネル [タリー、XPT 状態]

3. 定期処理

(1) スイッチャー定期処理について

AUX パネルにも同様に本体から一定間隔で ABST コマンド(各バスの XPT、タリー)および ATST コマンド(各トランジションの状態)、SPAT コマンド(トランジションパターン)を送信します。

(2) AUX パネル定期処理について

スイッチャーでの AUX パネル生存監視用として、AUX パネルは、500msec の周期で

SPAT コマンド(パラメータ 1:0、パラメータ 2:00)を送信します。

ただし、スイッチャーからの SPAT の返信は、ありません。

4. コマンド一覧

※通信経路 REMt は AUX パネルから本体へ TCP/IP で使用できるコマンドです。REMu は AUX パネルへ本体から UDP/IP で使用するコマンドです。

クロスポイント関連コマンド

番号	コマンド名	機能	通信経路
	SBUS	バス選択の設定。	REMt

トランジション関連コマンド

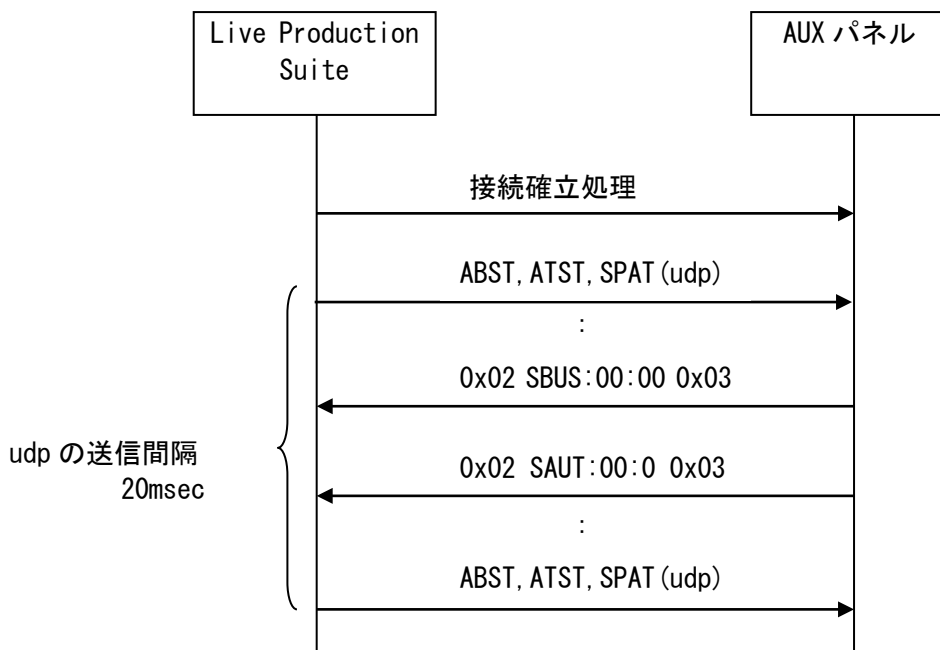
番号	コマンド名	機能	通信経路
	SAUT	AUTO トランジションの設定(トリガー発行)	REMt
	ABST	各バスの状態の返信(XPT)。	REMu
	ATST	AUTO トランジション状態の返信。	REMu
	SPAT	トランジションパターンの設定/返信。	REMt

シーケンス

Live Production Suite と AUX パネルの TCP/IP の接続が確立後、Live Production Suite は udp の送信を開始します。

接続確立後、AUX パネルは SBUS, SAUT, SPAT の制御を行います。

以下に通信例を示します。



4.1 クロスポイント関連コマンド

番号	コマンド名	機能
	SBUS	バス選択の設定。

【パラメータ数】

2

【パラメータ】

パラメータ 1:バス選択

00	PGM/A
01	PST/B
02	PGM/A
03	PST/B
04	KEY (KEY-F)
05	KEY (KEY-S)
06	DSK1 (DSK1-F)
07	DSK1 (DSK1-S)
08	DSK2 (DSK2-F)
09	DSK2 (DSK2-S)
10	PinP1
11	PinP2
12	AUX1
13	AUX2
14	AUX3
15	AUX4

パラメータ 2:素材

00	XPT1
~	
31	XPT32
77	PGM
78	PVW

【機能説明】

- ・バス選択の設定です。通常のクロスポイント切替処理を行います。

【備考】

なし

4.2 トランジション関連コマンド

番号	コマンド名	機能
	SAUT	AUTO トランジションの設定(トリガー発行)。

【パラメータ数】

2

【パラメータ】

パラメータ 1: トランジション対象設定

00	BKGD
01	KEY
02	DSK1
03	DSK2
04	PinP1
05	PinP2

【パラメータ】

パラメータ 2 動作設定

0	トリガーOn(通常の AUTO 釦が押されて時発行)
---	----------------------------

【機能説明】

- ・ AUTO トランジションの設定(トリガー発行)。

【備考】

なし

番号	コマンド名	機能
	ABST	各バスの状態の返信 (XPT)。

【パラメータ数】

3

【パラメータ】

パラメータ 1:バス選択

00	Aバス(モードによらずパネルの上)
01	Bバス(モードによらずパネルの下)
02	PGM(モードによらず PGM)
03	PVW(モードによらず PVW)
04	KEY-F
05	KEY-S
06	DSK1-F
07	DSK1-S
08	DSK2-F
09	DSK2-S
10	PinP1
11	PinP2
12	AUX1(トランジション先)
13	AUX2
14	AUX3
15	AUX4
16	AUX1S(トランジション元)

パラメータ 2:クロスポイント

00	XPT1
~	
31	XPT32
99	選択なし

パラメータ 3:タリー情報

0	タリー-off
1	タリー-on

【機能説明】

- 各バスの状態の返信 (XPT)。通常のパネルの状態はこの関数でわかります。

【備考】

パラメータ 1 が AUX1S の場合、パラメータ 2 は 99 固定になります。

番号	コマンド名	機能
	ATST	AUTO トランジション状態の返信。

【パラメータ数】

2

【パラメータ】

パラメータ 1:対象

0	BKGD
1	-
2	-
3	-
4	-
5	-
6	-
7	AUX
8	-
9	-

パラメータ 2:状態

00	停止 Off
01	一時停止 (BKGD のみ)
02	動作中

【機能説明】

- ・ AUTO トランジション状態の返信。

【備考】

本体からパネルへは定周期で送られます。

(1) PGM/A、PST/B 選択時 (AUX パネル)

- ・ パラメータ 1 の 0 : BKGD
- ・ パラメータ 2 の 00 : 停止 Off、 01 : 一時停止、 02 : 動作中

(2) AUX1, PinP1, PinP2 選択時 (AUX パネル)

- ・ パラメータ 1 の 7 : AUX
- ・ パラメータ 2 の 00 : 停止 Off、 02 : 動作中

番号	コマンド名	機能
	SPAT	トランジションパターンの設定/返信。

【パラメータ数】

2

【パラメータ】

パラメータ 1:対象

0	-
1	-
2	AUX1

パラメータ 2:パターン

パラメータ 1:2 (AUX1)	
000	CUT (AUX トランジション Off)
001	MIX (AUX トランジション On)

【機能説明】

トランジションパターンの設定/返信

【備考】

なし